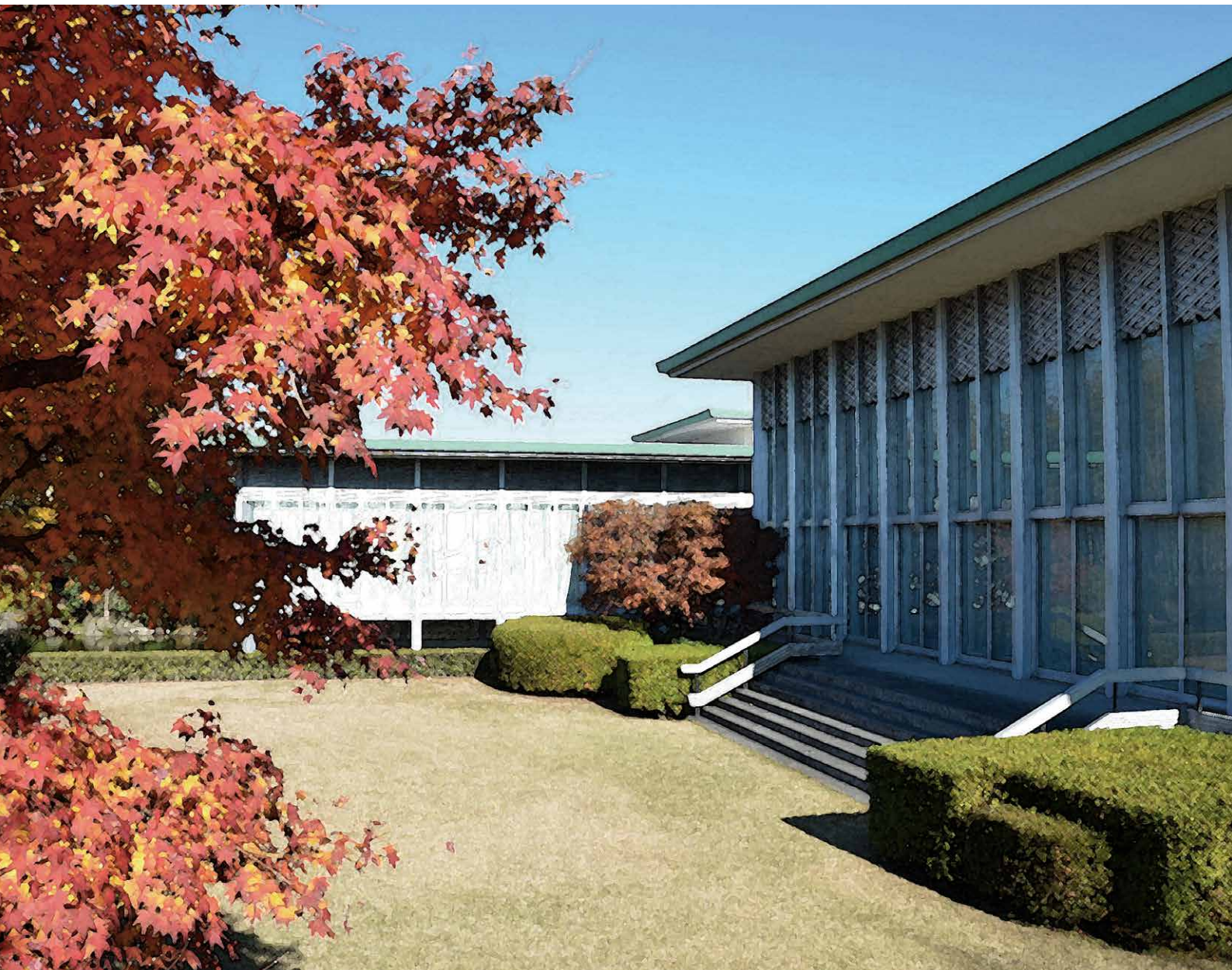




開校記念日によせて



未来に繋がる自分へ繋げる



● 開校記念日によせて	2
● 名誉教授のプロフィール	3
● 駒大Anniversary特集 大学昇格90周年	4
● 坂野井准教授の研究グループ、日本初の夜光雲観測成功	6
● 第9回学長学業奨励賞受賞者発表	13
● 活躍する卒業生 落語家 三遊亭遊馬さん	16

開校記念日によせて

健やかな人間を育くむ



総長 池田 魯参

開校記念日は、駒澤大学がどういう歴史をたどり、どんな理念の下で教育研究を行って来たか、皆さんが改めて振り返ることのできる記念すべき好日です。

元、校歌でおなじみの「旃檀林」の学舎があった駒込吉祥寺から、麻布北日ヶ窪（現六本木ヒルズ辺）の地に移転し、校名を新たに「曹洞宗大学林専門学本校」と改称した、明治15（1882）年10月15日を本学の開校記念日と定めています。この日から本年は133年目を迎えました。大正2（1913）年に現在の駒沢の地に移転してからは102年目となります。

これらの歴史を一貫して本学が掲げてきた願目は、禅・仏教に裏打ちされた健やかな人間を作ることでした。2500年の間、仏教を永々と伝えてきた禅師たちが、厳しい自省の修行を通して独立独歩の人格を実現したようすは私たちが生きて行く指針です。また、禅師たちが周囲の人々に人生の醍醐味を伝えた姿は、社会で働く私たちの日常に多くの示唆を与えます。

私の執務室には、墨痕鮮やかに「学道照心」と書かれた横額が掲げられています。永平寺76世秦慧玉禅師の揮毫です。仏道（ほとけの生き方）を学び自心を照らし出す、という意味です。道元禅師の「仏道をなろうというは自己をなろうなり」という言葉を写した句です。私はこの句に唱和して「行道利生」と書いてみました。仏道を行じ世のために働くという意です。「自未だ渡らざる先に他を渡さん」という道元禅師の心です。

私たちも、世のため人のために存分に働けるよう、大いに仏道を学び自己を高める工夫をしたいものです。混迷を極める現代、一大事は人間を作ること、と確信します。

開校130周年記念棟着工に 133年前の開校を思う



学長 廣瀬 良弘

駒澤大学開校130周年記念棟の建設工事がいよいよ始まり、感慨一入ですが、ここで、133年前の開校時の様子や校地周辺について見てみたいと思います。

駒澤大学は明治15（1882）年10月15日に駒込吉祥寺旃檀林から独立する形で、麻布北日ヶ窪の地に曹洞宗大学林専門（学）本校の名で開校いたしました。現在の六本木ヒルズ・テレビ朝日の場所です。当時の地図には、その北側に長府毛利家の上屋敷の池が見えます。この長府毛利家は吉良邸に討入った赤穂浪士10人を預かりましたので、彼らの切腹の場であり、長府藩士である乃木希典の生誕の地でもあります。なお、後の昭和27（1952）年、この地はニッカウキスキー余市酒の瓶詰工場となり、池は「ニッカ池」と称されましたが、後に防護シートに覆われ埋土保存され、その上にヒルズの池ができました。

校地、約8600平米は2千余円で入手され、それも含めて総経費は徳島県の銀行家の九次米兵次郎氏の援助と全国の曹洞宗寺院の檀信徒からの寄付で賄われました。その帳面は「護法会志納帳」と称され、359冊にも及びます。先祖供養の名目で全国から浄財が集まりました。禅文化歴史博物館の釈迦如来・道元・瑩山両禅師像もこの時の立像です。

さて、開校新築にかかった総経費は2万5486円87銭で、平均米価から類推しますと現在の金額で2億6000万円ほどになります。200人の学生数でした。現在の駒沢キャンパスの敷地面積は約5万平米で約6倍、学生数は約80倍の1万5500人です。まさしく、隔世の感がありますが、開校にかかわられた方々や浄財をお寄せいただいた全国の方々のご協力に思いを馳せ、開校130周年記念棟の無事完成を祈りたいと思います。

一松語

◆奈良県二上山にある当麻寺には、極楽浄土を表現した当麻曼荼羅と称される大きな絵がある。夕暮の中、中将姫が沈む太陽の向こうに阿弥陀如来を見て、その方角に極楽浄土があると信じ、幻視した光景を蓮糸で一夜にして織り上げたという伝説が残る◆当麻曼荼羅は、阿弥陀如来の鎮座する極楽浄土の光景が描かれると同時に、浄土へ往くための方法が表現されており、人々の浄土への憧れをいっそう強いのにし

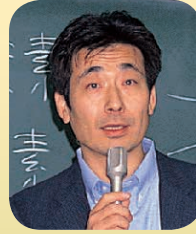
た。その浄土への第一歩は、夕陽を観想することからはじまる◆夕陽は人を情緒的にさせる。清少納言は「秋は夕暮れ」と詠み、時代が下って会津八一は、失恋した牡鹿の心境を「もゆるまなこにあきかぜふく」と詠った。傷心の牡鹿の眼には紅い夕陽が映っている。夕陽といえは童謡『夕焼け小焼けの赤とんぼ』を思い出す人もあるだろう。子どもの頃、遊び疲れて帰る家があった。夕陽は過ぎ去った日への郷愁とともに、安らぎの記憶とも結びついている◆半世紀前に学内に建

立された体育館がこの度解体され更地になっていた。将来はここに130周年記念棟が建つという。深紅の夕陽が瓦礫を照らす様を眺めていると、役目を終え、還る場所に還っていったものたちが、優しい光に照らされて休息しているかのように見える。新しい建物は、朝日の中で輝きながら昇り建っていくのだろう。人生も大きな流れで俯瞰するべきなのかもしれない◆中将姫は夕陽の中に浄土を見た。帰るべき安住の地を見た。それは、未来への希望でもあったのだろう。

名誉教授のプロフィール

名誉教授の称号は、学校教育法第106条、駒澤大学学則第51条及び駒澤大学法科大学院学則第14条第4項に基づき、教育または学術上、特に功労のあった先生に授与されます。

各学部の教授会の推薦により名誉教授審議委員会にて審議され、今年度は、7月9日(木)に授与式が行われました。



経済学部
小杉 修二先生

小杉先生は、1982年4月に駒澤大学経済学部に着任以来、助教授、教授を経て、2015年3月まで34年の長きにわたり駒澤大学の発展に寄与されてきました。05年4月から07年3月までは経済学部長として学部運営にも貢献されました。先生は、長年にわたり中国経済論を教えられ、中国研究に携わってこられました。後にテーマを地球温暖化問題へと広げられ研究に取り組んでおられます。趣味のテニスも含め益々のご活躍を祈念します。

(経済学部教授 小栗 崇資)



文学部
河崎 征俊先生

河崎先生は本学のご出身で、1974年に奉職しご退職なさるまで、41年間勤務されました。その間に学科主任、駒澤大学コミュニティ・ケアセンター所長、人文科学第2研究科委員長を歴任し、研究者としては、日本中世英語英文学会の中核を担われて、それに相応しい業績を残されております。温厚なお人柄で、多くの学生からも慕われ、後輩たちに一つのお手本と目標をお示しになりました。

(文学部教授 逢見 明久)



法学部
荒木 正孝先生

荒木先生は、1974年以来41年間の長きにわたって本学法学部に奉職されました。その間、法学部長、法学研究科委員長など要職を歴任し、本学の発展に貢献されました。ご専門の「会社法学」においては、フランス会社法の研究で優れた業績を残していらっしゃいます。穏やかな語り口調で、明快かつ理路整然と説明する姿を慕う学生も多く、先生のゼミには毎年多数の熱心な学生が集まっています。

(法学部准教授 中濱 義章)



文学部
伏島 正義先生

伏島正義先生は、1984年の非常勤講師就任を経て、1993年に歴史学科の専任となりました。通算して36年間、本学の教壇に立たれましたが、その間に歴史学専攻主任やコミュニティ・ケアセンター長などを歴任されました。ご専門はヨーロッパの初期中世で、部族法典を主要史料とした、奴隷や土地制度に関する研究が数多くあります。史料の厳格な読みを求める先生の姿勢は、外国語文献の講読などで学生の教育に活かされ、人材を育成するとともに、多くの学生に慕われていました。

(文学部教授 佐々木 真)



法学部
鶴井 俊吉先生

鶴井俊吉先生は、駒澤大学大学院を満期退学したのち、1973年に法学部の助手となられた。民法の「担保法」をご専門とされ、特にドイツ法における「担保法」にご造詣が深く、フライブルク大学やケルン大学で在外研究もなされた。法律学科主任や大学院私法学専攻主任として学部・大学院運営にご尽力なさる一方、明るく温厚なお人柄で多くの学生にも慕われ、ゼミ生から法曹を輩出するなど、教育熱心な教授として名を立てられた。

(法学部准教授 中田 英幸)



経済学部
大石 雄爾先生

先生は東京都立大学大学院で理論経済学を専攻、本学には1974年に着任、経済理論関連の科目を担当してきました。『マルクスの生産価格論』、『商品の価値と価格』、『ヘーゲル論理学の真相』などの著書のほか、編著書や多数の論文があり、博士の学位も取得しました。経済理論のほか日本の経済事情にも明るく、それらの分野で学生を指導するかわら、大学院経済学研究科委員長のほか経済理論学会幹事もつとめました。その温厚なお人柄も印象的でした。

(経済学部教授 瀬戸岡 紘)



総合教育研究部
高橋 俊介先生

高橋先生は1967年に本学体育研究室に赴任され、「グローバルな学生の育成＝日本文化への精通」の信念を空手道を通して学生に伝えてこられました。2002年には長年にわたるニュージーランドでの空手道指導が高く評価され、エリザベス女王より、「名誉ニュージーランド功績勲章メンバー賞」を授与され、翌2003年にはオーストラリア政府より「オーストラリア名誉勲章 メダル・オブ・オナー」を受賞されています。今後も国内外での先生のご活躍を期待します。

(総合教育研究部准教授 末次 美樹)

駒沢キャンパス 開校130周年記念棟建設始まる

すでに皆さんもご存知のとおり、「開校130周年記念棟」の建設が始まりました。これは、2012年に開校130年、2013年に駒沢移転100年を迎えた本学が進める“キャンパス再開発計画”の第一歩となる工事です。

この記念棟建設が、国土交通省の平成26年度（第2回）「住宅・建築物省CO₂先導事業」に採択されました。恵まれた環境に位置する特性を活かしたバランスの良い設計計画や、情報通信技術を活用した設備の最適制御などが評価されたものです。ワンキャンパスというメリットを活かし、学生の皆さんがより意欲的に学べる環境の整備を進めています。

■ 本事業の特徴

- ・ 周辺環境に調和し、空地・緑を取り込んで風・光・熱等の自然エネルギーを活用。
- ・ 日常の省CO₂だけでなく災害対応拠点としてBCP（Business Continuity Plan：リスク発生時、重要業務が中断しないこと。また万が一中断した際に、速やかに復旧するための準備計画）に寄与。
- ・ 自律型水冷式空調制御システムや無線による個別調光制御システム、BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）などICT（Information and Communication Technology：情報・通信に関する技術の総称）を活用したエネルギー管理の最適化。
- ・ 災害時、キャンパス内最安全建築物として、大学の事業継続と復旧の拠点として機能する電源確保等を実施。



完成イメージ図

住宅・建築物省CO₂先導事業…省CO₂の実現に優れたリーディングプロジェクトとなる住宅・建築プロジェクトを国が支援することで、省CO₂対策の推進や住居・生産環境の向上などを図ることを目的としています。

グローバル・メディア・スタディーズ学部創立10周年記念事業

2006年に開設したグローバル・メディア・スタディーズ（GMS）学部は、今年で10年目を迎えました。グローバルな環境で生きる人材の育成を目標に掲げ、複数の学問分野を基礎においた学際学部として横断的教育・研究を追究しています。メディアを現代社会で必須の“教養”としてとらえ、複合的な研究を目指して“スタディーズ”を求めるコンセプトは、10年間一貫して継続しています。開設当初より、まずは教員の構成からグローバルな環境を維持してきました。わずか22人の専任教員ですが、国籍別になると、日本国籍比率は一貫して7割以下を維持。10年で多少動きましたが、イギリス、アメリカ、韓国、中国、フィンランドと外国籍の教員が常に3割を占めます。女性比率2割を含めて、ダイバーシティ度合については日本国内ではまずまずの環境です。多国籍の教員が担当する授業の効果は絶大です。日本的な解釈を超えた専門分野の教育現場で、学生たちは日本に居ながらにしてグローバルな空気に接し、多文化共生の現実を肌で感じているようです。グロ

ーバル・メディア・スタディーズ学部10年目のスローガンを“Be different, Be global”にしました。国境を超えて人の移動が活発化する中では、個のアイデンティティの確立が必須です。グローバル社会では、違いにこそ意味があるのではないのでしょうか。

（グローバル・メディア・スタディーズ学部長 各務 洋子）

■ 創立10周年記念事業一覧(後期も企画更新中。GMS websiteをご参照ください。)

- ①インフォバーン×駒澤大学 「恋と就活に効くマーケティング講座」
開催日程：5月16日（土）、23日（土）13:00～17:00
場所：9－173教場
- ②実践メディアビジネス講座Iスペシャル「クリエイティブ力を発揮するワークショップ講座」（電通クリエイティブディレクターによる）
開催日程：4月20日（月）～6月6日（土）までの計7回
場所：1－401教場
- ③実践メディアビジネス講座Iスペシャル「宗教とメディアの新時代」
開催日程：6月8日（月）～7月13日（月）までの計6回
場所：1－401教場
- ④文化経済学会全国大会共催「五輪文化プログラムの社会的な意義と役割—ロンドン2012の実績と東京2020への展望」
開催日程：7月4日（土）、5日（日）
場所：1－301教場
- ⑤国際シンポジウム「ITS Supported International Symposium: The Development of Globalization and the Role of Media」
開催日程：11月20日（金）
場所：アカデミーホール
- ⑥GMS学部第一回同窓会開催
開催日程：10月31日（土）17:00
場所：深沢キャンパス大ホール
- ⑦GMS学部ホームページ 開設10周年記念バージョン製作
- ⑧開設10周年記念 スローガンとロゴの製作
- ⑨GMS学部学生全員による GMS Branding Project 実施中



恋と就活に効くマーケティング講座



クリエイティブ力を発揮する
ワークショップ講座

坂野井和代准教授の研究グループが

日本初の夜光雲観測成功



撮影された夜光雲（黄色円内）（撮影：坂野井准教授）

2015年6月21日の早朝に北海道で、「夜光雲」と呼ばれる雲が、日本では初めて観測されました。夜光雲は、大気中の高度約85kmにおいて、水の結晶が太陽光を散乱して青白く光る雲です。とても高い場所にあるので、日の出前と日没後の数時間、地平線より下にある太陽光が高い高度だけを照らしているときに輝きます。このため夜光る雲＝夜光雲と呼ばれています。この高度は、地上と異なり夏期に気温が低くなり、極域では-130度以下にまでなります。このぐらい低温になると、水蒸気が少なくとも大気は飽和状態になり、水の結晶（雲）が生まれます。ですので、夜光雲は通常は極域の夏期に見られます。

ところで、温室効果気体である二酸化炭素が増加すると、実はこの高度では気温が下がります。またメタンの増加は水蒸気量の増加につながるため、夜光雲ができやすくなります。そのため、地球温暖化が進行すると、夜光雲の出現頻度が増加し、出現領域が低緯度に広がると考えられ、温暖化の進行度合いを示す可能性がある現象として注目されています。

さて、それでは今回の初観測で、地球温暖化が進行していると言えるかということなのですが、新しい現象が観測された場合、それが有名になって観測や調査が充実することによって、以前より発見されやすくなるという効果が無視できません。ですので北海道で初観測された夜光雲についても、今後、かなり長い期間、観測を続けることによって、それが「本当はよくあることだ

たのに、観測が充実したことによって見えてきただけ」なのか、それとも本当に地球温暖化の進行に伴って出現したのかが解明されていきます。

（総合教育研究部自然科学部門准教授 坂野井 和代）



観測場所の母子里観測所



使用されている観測機

北京大学との学術交流シンポジウム開催

7月11日（土）、駒沢キャンパス・中央講堂にて、駒澤大学主催（駒澤大学国際センター・駒沢史学会後援）シンポジウム「近世・近代における日中文化交流—思想と文学に即して—」が開催された。演目は、①「食の比喩と江戸儒学」高山大毅氏（本学文学部講師）、②「吉田松陰の東坡策批評について」唐利国氏（北京大学歴史学系副教授）、③「1920年代中国新詩における日本近代詩歌の受容—周作人と馮乃超の場合—」佐藤普美子氏（本学総合教育研究部教授）、④

「留日学生と創立期の中国共産党」王新生氏（北京大学歴史学系教授）の4本。本会では、2005年12月に北京大学との間で「駒澤大学と北京大学との学術交流」を締結して以来積み重ねてきた「文化交流」という議論をより一層進め、「思想と文学の交流」の実態が明かされた。当日は、学内のみならず学外からの参加者120人強を得て、盛況のうちに開催できた。詳細は、今秋刊行の『駒沢史学』をご参照ありたい。

（文学部歴史学科教授 熊本 史雄）



経営学部が世田谷区内の小学校と連携

今年8月、経営学部が世田谷区内の小学校のサマースクールに企画参加しました。この小学校では学校運営委員会が主催となり、毎年1回、小学生を対象に木工教室やダンスなど幅広い講座を開いて児童や保護者から好評を博しています。今回の参加は、経営学部が進める「地域との連携」の一環として行われたものです。

当日は、経営学部の学生39人がゼミ単位に分かれ、経営学



の知識を楽しいゲームやグループワークに落とし込んだ4つの講座を受け持ちました。講座タイトルは「コンビニ経営者ゲーム」「発明ウォッチ」「協力は強

力?」「保護者のために商品を開発しよう!」です。講座内容は、半年がかりで練り上げられたもので、学生らは小学生と楽しく対話しながらプログラムを進めていました。終盤では、小学生からは「来年も参加したい!」、学生からは「とても勉強になった」という声が多く聞かれました。

今回参加したゼミは、青木茂樹ゼミ、鹿嶋秀晃ゼミ、渡辺伊津子ゼミです。

最後に、この場を借りて、ご協力いただきました小学校関係者および学校運営委員の皆さまに感謝申し上げます。

(経営学部教授 渡辺 伊津子)



仏教行事について

太祖降誕会

仏教学部教授 佐藤 秀孝

越前永平寺開山の高祖道元(1200～53)と、能登總持寺開山の太祖瑩山紹瑾(1264～1325)を両祖に仰ぐ曹洞宗では、さらに2人を加えて50年間に4度の太遠忌が举行されている。永平寺では道元と二祖孤雲懷奘(1198～1280)を、總持寺(明治期に横浜市鶴見に移転)では瑩山と二祖峨山韶碩(1276～1366)を、重要な祖師として報恩供養している。

『正法眼蔵』など膨大な道元の著述は懷奘によって後世へと託された。懷奘がいなかったなら、道元の深遠な仏教哲学は今日まで纏まった形で残らなかったかもしれない。そんな孝順の功績を称えて懷奘を特別に讃仰している。

一方、峨山は瑩山の遺志を受け継ぎ、總持寺に40年以上も住職し、「峨山下二十五哲」と称される多くの弟子を育成した。峨山は曹洞宗全国展開の礎を築いた祖師であり、この人が世に出なかったなら、曹洞宗は現今の十分の一ほどの勢力で終わったことであろう。後継者の人材育成、總持寺護持の輪番住持制、檀信徒への布教教化など多岐にわたる峨山の絶大な功績によって、現在の曹洞宗ひいては駒澤大学も存在できたといつて過言でない。そんな峨山の思いを「相承」(人から人へと受け継ぐ)の語に込めて「峨山禪師大遠忌」が10月20日の命日に最終日を迎える。

11月21日の「太祖降誕会」に代えて、今回は「峨山大遠忌」を紹介した。



木造瑩山紹瑾坐像



木造峨山韶碩坐像

(ともに石川県永光寺所蔵)

成道会

仏教学部講師 徳野 崇行

日本において、12月8日は釈尊がお悟りを開いた特別な日として宗派を問わず成道会という法会を営む期日になっている。12月1日から8日にかけて禅宗の修行道場では、「臘八接心」という坐禅に専念する日々を過ごし、これを締め括る儀礼として成道会が営まれる。

大本山永平寺では、僧堂での坐禅を終えた後、釈迦牟尼仏をお祀りした仏殿で「臘八小参」という儀礼を営む。小参師をつとめる老師からの垂語を受けて、雲水は臘八接心を通して感じた自身の問いを大衆の前で発し、老師より教えを受ける。この問答の後、僧衆は釈尊の祀られた北面に向かって長跪し、「南無本師釈迦牟尼仏」という「聖号」を唱和する。そして殿行と呼ばれる法要係から給仕されたお粥を喫し、仏殿を出る。

つまり、この「臘八小参」という儀礼は、釈尊が苦行で疲弊した身心をスジャータの献粥によって回復したこと、そして菩提樹下での坐禅に入り、明けの明星にお悟りを開いたという故事に由来するものである。二千年以上も昔にあった釈尊の体験は、時代を超えて語り継がれ、現代においても雲水たちが儀礼的に再現することで追体験するものとなっているのである。



国際交流体験レポート

本学では9つの国・地域の
13大学と協定を結んでいます。

アメリカ・アーカンソー工芸大学 交換留学

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科4年 田島 拓



留学先での生活は、東京では送れない非日常の連続でした。キャンパスには毎日のようにリスが現れ、スキャンクにも遭遇できます。それぐらい自然豊かな中、国際交流イベントにて。奥左手が田島さんに広いキャンパスがあります。また、春になると大量の花粉が飛散します。よもやアメリカに来てからも花粉症に苛まれるとは夢にも思っていませんでした。

現地での生活をする中でよくわかったのが、アニメ等について話せると、日本語を勉強している学生たちととても話がしやすいということです。僕ははっきり、彼らと話す際はメインカルチャーや伝統文化などについて知っておかないといけないと思っていたのですが、実は僕の得意分野であるアニメなどのサブカルチャーについて話せたほうが良かったのです。彼らと話すときは、言語こそ違えど、内容は日本の友人たちと話していることと変わりませんでした。この点は、ある意味カルチャーショックを受けたと言えるかも知れません。しかし、伝統文化などについて理解を深めておくと話の幅が広がるので、知っていてまったく損はありませんでした。

授業に毎日遅刻をすることなく出席したことや、日本語のクラスの手伝いをしたことで、自信を持って英語を話せるようになったと思います。学習法はこれといって考えず、ただひたすらに場数を踏むために毎日友人たちと会話することに専念しました。週末は友人とダウンタウンに出かけたり、ゲームを一緒にしたりしました。日本に居た時とは違い、時間に追われることもなく、ゆったりと様々な人たちと楽しい時間を送ることができました。毎日講義のための勉強に励むばかりでなく、友人と楽しい時間を過ごすというのもひとつの勉強法なのかもしれない、と今は考えています。



アメリカ

アーカンソー工芸大学
(アーカンソー州)
カリフォルニア大学
アーバイン校
(カリフォルニア州)
カリフォルニア州立大学
ロサンゼルス校
(カリフォルニア州)



スペイン

アルカラ大学 (マドリド州)



オーストラリア

クィーンズランド大学
(クィーンズランド州)
グリフィス大学
(クィーンズランド州)



カナダ

ブリティッシュ・コロンビア大学
(ブリティッシュ・コロンビア州)



中国

北京大学 (北京市)
華東師範大学 (上海市)



イギリス

エクセター大学
(デボン州)



韓国

東国大学校 (ソウル市)



フランス

エクス・マルセイユ大学
(プロヴァンス地方)



台湾

淡江大学 (新北市)



国際センターより お知らせ



クィーンズランド大学・ 来日プログラム



ボランティア学生の募集

本学協定校のオーストラリア・クィーンズランド大学の学生20人が日本語・日本文化を学ぶため、11月26日(木)～12月20日(日)の間、駒澤大学にて研修を行います。研修期間中、留学生の学習・生活を支援し、彼らと交流を持ってみませんか? 興味のある学生はぜひ募集説明会へご参加ください。英語力は特に必要ありません。

▼ 募集説明会

日時	10月21日(水) 12時15分～12時50分
場所	1号館304教場



■ ホストファミリーの募集

留学生を受け入れていただけるホストファミリーを募集します。通学に便利な近距離の家庭を希望します。

▼ ホームステイ期間

11月28日(土)～12月12日(土)

※詳細については国際センター事務室にお問い合わせください。

TEL(03)3702-9732

台湾・淡江大学 短期語学セミナー

文学部
国文学科2年 小山 由梨香



右から4人目が小山さん
「台北101(イーリンイー)」前

台湾での生活は毎日が驚きと発見に満ち溢れていました。セミナー生全員が寮で生活し、平日は大学で授業を受け、水曜日と週末の小旅行ではさまざまな地を訪れました。自然に交わされる中国語の中で生きた文化に触れることは、非常に刺激的でした。飲み物一杯を買うことでさえ、私たちににとっては冒険であり勉強であったと思います。

生活する中で何度も「言葉の壁」にぶつかりました。伝えたいことは頭の中で日本語として存在しているのに、中国語に変換できない。とっさの感情をストレートに表現できない。このもどかしさは自分自身の語学能力の低さと努力不足を痛感させ、情けなさに苛まれた時もありました。しかしこの困難は、もっと学びたいというやる気を起こしてくれました。反対に、自分の口から発した言葉が相手に通じた時の喜びはひとしおで、その喜びも学習への糧となったことは間違いありません。また、多国籍の人々と触れ合う中で、コミュニケーションにおける語学能力の重要性と必要性を痛いほど感じました。

振り返ってみると、22日間の時間の流れは驚くほど早く、留学は瞬間の出来事のようなものでした。出発日、留学に対する漠然とした不安と余ほどの期待を抱きながら飛行機に搭乗したことを鮮明に覚えています。しかし、私が22日間で得たことは計り知れません。この貴重な体験は大きな財産となり、今後のさまざまな場面で己の糧となってくれると確信しています。

現地を感じた悔しさと喜びを忘れることなく、これから先も情熱を保ち続け、語学能力の向上に努めたいと強く思います。

仏教学部石井清純ゼミは「禅の国際化」をテーマに、海外における禅の受容形態について学んでいます。現在4年生17人、3年生32人の計49人が所属しています。

ゼミの目標は、「禅のグローバル化に対応するための洞察力、表現する力を身につける」ことです。海外の禅の特徴を分析するために、インターネット等を利用した情報収集とその分析能力を養うとともに、禅の基礎知識を再確認し、発信してゆく能力を養うこと。また、普段の生活や授業内容・課題から何らかの疑問点を持つこと。そして自己の問題意識とする分析力や解決する力を持つことです。

そのために毎週のゼミでは、禅の基礎知識や海外での禅の受容様相をテーマに、3～4人程の少人数グループごとにプレゼンテーションを行います。発表班はスライド構成や話し方等を試行錯誤し他者に伝わるように工夫します。

その後、先生から総評とフィードバックをいただくのですが、先生の評価だけでなく、聞いている学生全員が採点を行います。構成や内容、そしてプレゼンテ

ーションの内容などについて、自分たちで評価をすることによって、自然に、他のグループの発表を丁寧に聞くようになっていきます。

今期は、3年生は仏典・禅籍の英訳を参照しながら、仏教語・禅語の翻訳に慣れその仏教的意味を正確に表現できるように、4年生は大学4年間で蓄えてきた自己の問題意識と疑問点を卒業論文としてまとめ挙げられるように学んでいます。ゼミ生は一人の人間としても成長できる石井ゼミで貴重な経験を日々積んでいます。



在外研究
COLUMN Vol.5

タイ仏教で癒される

グローバル・メディア・スタディーズ学部講師 杉森 建太郎



在外研究先のタイで感銘を受けたのは、人々の仏教に対する信仰と僧侶の生活です。タイ仏教では、男性は一生に一度は出家することがよしとされていて、身近な男性の多くが「私も出家経験者だ」と言うことには驚きました。また、出会ったタイ人の多くが「お寺に行って、祈ってくる」と気軽に言うことにも驚かされました。実際にお寺に行くと、子どもから高齢者までさまざまな年代の参拝者が本堂を出入りしています。彼らは、床に座り目を閉じて手を合わせ、静かに祈りを捧げていきます。タイ仏教徒にとってお寺は神聖な場所であると同時に、身近な場所でもあるようです。

このように信仰に篤いタイ仏教徒は、僧侶に対して敬意をもって接しています。彼らは、バスや電車等に僧侶が乗ってくると席を譲ります。また例え我が子であって

も、出家僧に対してその両親は、神聖な存在として手を合わせます。

一方、僧侶の生活は厳しく制限されています。在家信者が守るのは、殺生、盗み、姦淫、嘘、飲酒・喫煙・薬物を避けるという五戒であるのに対し、僧侶は実に227もの戒律を守る必要があります。袈裟を纏って僧房に住み込み、夜明け前に起床して裸足で托鉢に出かけ、正午以降は液体物以外の食物は口にできません。私有物も最低限の日用品に制限され、妻帯どころか女性の体に触れることすら許されません。

私も、タイ仏教徒の信仰やタイ僧侶の生活に接するうちに、次第にタイ僧侶を見ると敬意をもって接するようになりました。また、タイ人のお寺の本堂に座って目を閉じていると、心が休まるようになっていきました。

駒大生の皆さんも、タイに行く機会があったら、ぜひお寺に立ち寄ってみてください。きっと、癒されますよ。

平成27年度科学研究費助成事業

科学研究費助成事業（科研費）は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる研究を格段に発展させることを目的とする文部科学省・日本学術振興会の研究費です。専門分野の近い研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対して助成されます。

今年度本学では、新規課題15件、昨年度以前からの継続課題40件、合わせて55件の研究課題が採択されました。

●採択者一覧

※GMS学部＝グローバル・メディア・スタディーズ学部

研究種目	継続/新規	所属	職名	氏名	研究課題名
基盤研究(B)	継続	仏教学部	教授	石井 公成	古代東アジア諸国の仏教系変格漢文に関する基礎的研究
	新規	文学部	教授	佐々木 真	戦争叙述のための博物館の可能性—歴史の方法の有効性について
	新規	法学部	教授	中野 裕二	国内社会の紛争としての移民問題：フランスの市民統合モデルの変化に関する学際的研究
基盤研究(C)	継続	仏教学部	教授	金沢 篤	近代日本に於けるインド学仏教学の成立と展開—その書誌学的、文献学的研究—
	継続	仏教学部	教授	村松 哲文	中国における涅槃図像の変容に関する研究—敦煌・西安・四川の相関関係—
	継続	文学部	教授	有光 興記	コンパッション・セラピーによる認知行動変容の比較文化研究
	継続	文学部	教授	大城 道則	エジプト王バクエンレンエフのギリシア・ローマ世界への伝播過程に関する研究
	継続	文学部	教授	櫻井 陽子	覚—本「平家物語」の遊行と伝播・受容についての基礎的研究
	継続	文学部	教授	土井 光祐	データベース構築に基づく明恵関係図書類の記述的研究
	継続	文学部	教授	山田 信行	グローバル化と反システム運動の動向—半周辺社会マレーシアを事例とする調査研究
	継続	文学部	教授	李 妍焱	中国の市民社会に与える影響を与えるために：仕組み作りと意識変革のための実践的研究
	継続	文学部	准教授	深澤 弘樹	ローカルニュースの現状と役割に関する研究：内容分析と送り手調査から
	継続	経済学部	教授	長山 宗広	オープン・イノベーションとメイカー革命時代における製造業の日本的創業モデル
	継続	経済学部	教授	鈴木 伸枝	離脱可能な組織を通じた公財供給
	継続	経済学部	准教授	矢野 浩一	ゼロ金利制約下の大規模ショックによる経済変動と政策対応の計量分析
	継続	法学部	教授	原田 啓一郎	地域における統合的ケア体制の構築に係る基礎研究—地域包括ケアを創る在宅医療の検討
	継続	法学部	教授	村井 良太	民主政治下での長期政権のメカニズムと政策形成—楠田資料を用いた佐藤政権の歴史分析
	継続	法学部	准教授	山崎 望	ポスト代表制における民主主義の諸問題—代表制、熟議システム、直接民主主義—
	継続	経営学部	教授	小本 恵照	知識ベース理論と取引費用経済学を用いたフランチャイズの利用理由に関する研究
	継続	経営学部	教授	菅野 佐織	ブランド・リレーションシップの国際比較に関する研究
	継続	医療健康科学部	教授	嶋田 守男	ハイブリッドMRI造影剤創製と動物実験による他の造影剤との性能の基礎的比較検討
	継続	GMS学部	准教授	芝崎 厚士	脱国民国家の思想からオルター国民国家の思想へ—近現代日本のトランスナショナリズム
	継続	GMS学部	准教授	朴 正洙	日・米・中・韓・台の消費者行動に及ぼす「消費者エスノセントリズム」の影響と課題
	継続	GMS学部	准教授	服部 哲	生活に溶け込むタブレット・メディアの構想：障害者・高齢者に学ぶコミュニケーション
	継続	GMS学部	准教授	吉田 尚史	センサデータベースを対象とした即時分析及びタグ自動抽出
	継続	総合教育研究部	教授	小沢 誠	多様体グラフの埋め込み
	継続	総合教育研究部	講師	三木 望	日本人学習者のライティングのメタ認知課題意識のエラー分析
	新規	文学部	教授	酒井 清治	東国における初期仏教文化の導入と展開
	新規	文学部	教授	松信 ひろみ	世代間関係、ネットワークからみた中期から高齢期への移行と夫婦関係に関する研究
	新規	経営学部	教授	日野 健太	フォローアップ視点によるリーダーシップに対する期待・失望のメカニズムの解明
	新規	GMS学部	教授	川崎 賢一	転換期にあるシンガポールの文化制度：グローバル創造都市の新たな展開
	新規	総合教育研究部	教授	伊藤 茂樹	非行少年の社会復帰とその支援に関する教育学的研究
	新規	総合教育研究部	教授	佐藤 普美子	京派詩人における「倫理的なもの」の美学的考察
新規	総合教育研究部	准教授	上田 倫史	総合的な受容・産出語彙の測定テスト開発とその予測値に基づく学習支援システムの構築	
新規	総合教育研究部	准教授	小川 順敬	久米島の明治大正期の郷土史および民俗資料の整理と研究	
新規	総合教育研究部	准教授	中村 哲子	アイルランド旅行記・小説「画像のインターアクション」—1780年から1864年	
新規	総合教育研究部	講師	三好 俊介	バロク文学の言説空間に関する研究：「亡命文学」概念の生成現場として	
挑戦的萌芽研究	継続	医療健康科学部	教授	森口 央基	「仮想データ」を用いたMRI撮像の高速化
	継続	GMS学部	准教授	高 媛	戦争・観光・デザイン——戦前期満洲における「観光デザイン」の歴史的展開
	新規	文学部	教授	坪井 健	偏見の低減のための教育—ヒューマンライブラリーの効果研究
若手研究(B)	継続	仏教学部	准教授	藤井 淳	三教交渉文庫のテキストデータ集積と訳注
	継続	文学部	教授	荒井 浩道	ピアサポート機能に注目した認知症家族会の運営マニュアルの開発と評価に関する研究
	継続	文学部	講師	高山 大毅	江戸中期の「復古」思潮と中国観の変容に関する研究
	継続	文学部	講師	濱田 国佑	日系南米人集住地域における外国人受け入れ意識の変容に関する実証的研究
	継続	経済学部	准教授	浅田 進史	19・20世紀華北におけるドイツ帝国主義と鉄道事業——グローバル化の視点から
	継続	法学部	准教授	奥村 公輔	執行府の憲法解釈権の構造の比較法的研究
	継続	法学部	講師	大西 楠・テア	移民政策と家族生活の保護—グローバル化時代の日独移民法制—
	継続	経営学部	准教授	中野 香織	「符号化変動性仮説」に基づく複数メディアによる相乗効果の検討
	継続	医療健康科学部	講師	岡田 朋子	温度応答性を付与した癌細胞造影剤の新規構造モジュールの構築
	継続	GMS学部	助教	松前 恵環	SNSとプライバシーに関する比較法的・体系的考察—情報自覚の公開とプライバシー
研究活動スタート支援	継続	総合教育研究部	准教授	勅使河原 三保子	自分の発音に自信と誇りを持って話せる日本人英語学習者の育成に向けて
	継続	文学部	講師	角道 亮介	中国初期王朝時代における関中平原と陝北地域の地域間交流とその変容
研究成果公開促進費(学術図書)	継続	経済学部	講師	西村 健	産業規制の制度設計：独占企業による情報の私的保有について
	新規	仏教学部	准教授	藤井 淳	最澄・空海将来「三教不斉論」の研究
特別研究員奨励費	新規	特別研究員		李 子捷	東アジア諸国の仏教における唯識・如来藏思想史—一五世紀から八世紀を中心として—

科学研究費による学術研究 ～現代民主主義論の研究～

法学部准教授 山崎 望

私が科研費から助成を受けている研究のタイトルは「ポスト代表制における民主主義の諸問題—代表制、熟議システム、直接民主主義」です。近年、民主主義の諸国で議会や政党に対する不信が広まり、投票率の低下という現象がみられます。「誰が政治をやっても同じだ」という無力感や「自分の声は代表されていない」という憤りは広がるばかりです。他方で様々な主張を掲げて街頭に繰り出し、デモをする人々は増えています。選挙で国民の代表を選び、代表者である政治家が政治を行う、という代表制民主主義はなぜ揺らいでいるのでしょうか。そもそも代表制民主主義という制度は、なぜ選択されてきたのでしょうか。この研究では代表制民主主義の歴史と思想を検討し、現代における揺らぎの原因

を分析しています。加えて住民投票や国民投票のように人々が直接、物事を決めることを重視する直接民主主義や、話し合いを通じて熟慮しながら合意を作ることを重視する熟議システムの可能性を考察しています。同じ問題意識を持つ高橋良輔先生（青山学院大学）と山本圭先生（岡山大学）との共同研究により、様々な学会での報告や、所属機関や世代を越えた研究会を立ち上げるなど、研究推進係を中心とする本学のサポートの下、研究を進めています。昨年『ポスト代表制の政治学—デモクラシーの危機に抗して』（ナカニシヤ出版）という研究成果を公刊しましたが、残りの研究期間で民主主義が直面している諸課題について研究を進めていこうと考えています。

医療と放射線

医療健康科学部准教授

金子 順一



私の現在の主な研究テーマの一つが、医療分野で用いられる放射線の測定についてです。近年では、放射線や線量といった用語は一般的に知られるようになりましたが、放射線の種類によってその特徴はさまざまです。医療分野に限ってみても、がんなどの治療に用いられる重粒子線や核医学検査に用いられるガンマ線など、目的に応じて多様な放射線が用いられています。その中で私が主に研究しているのは、コンピュータ断層撮影やいわゆるレントゲン撮影といった、人体の撮影に用いられるX線の測定についてです。医療分野で用いられる放射線のうち、この撮影に使用されるX線が件数としては最も大きな割合を占め、病院などで日常的に使用されています。このX線の特徴としては、撮影対象の材質の違いに比較的敏感であることがあげられます。このため、体内の臓器・骨の違いや、造影剤(健康診断などでよく使用されるバリウムなどがその一例です)を明瞭に描出することができます。これは、撮影においては非常に有用な特性となりますが、一方で測定を行うという立場からは、得られる測定結果が測定方法の影響を受けやすい、ということの意味します。そのため、種々の状況に対応した適切な測定方法について、実験やコンピュータシミュレーションを用いて検討を行っています。日本の医療被ばくは高度な医療機器が広く一般に普及していることもあり、世界平均と比較して高い値となっています。これを減らしていくためにも、きちんとした測定を行い、数値として定量的に把握していくことが非常に重要です。

民法が改正される？

法科大学院教授

青野 博之



3月31日、民法改正案(民法の一部を改正する法律案)が第189回国会(常会)に提出された。執筆している時点では、この国会中に改正案が成立するかどうかは、不明である。しかし、この学園通信が発行される時点では、民法が改正されるかどうかははっきりしているであろう。この国会において改正されなくとも、そのうち民法は改められるであろう。では、なぜ、どのような内容に改正されようとしているか。

現在の民法は、100年以上の年月を経てきた。婚姻、親子、相続などに関する家族法は姿を変えたが、契約などに関する財産法は、ほぼ原形をとどめている。社会経済情勢がこれだけ変化してきたにもかかわらずである。平成17年4月1日から、見かけは、文語体から口語体が変わった。しかし、内容は、ほぼ明治31年に施行されたときのままである。

そこで、飲食などの1年という短期の消滅時効を廃止するなどして、時効の期間を統一するように時効に関する規定を整備し、年5%という法定利率を変動させるように規定を新設し、保証人の保護を図るために保証債務に関する規定を整備し、知らない間に契約をしたことになっている預金約款などのような定型約款に関する規定を新設するなどが提案されている。マス・メディアでは、消費者保護のための改正であると言われているが、必ずしもそうではない。

民法が生活に密着しているだけに、改正の動向に注意していきたい。

総合情報センターからのお知らせ (2015年夏期リニューアル)

◎学内無線LAN 新方式サービスを開始しました

従来の方式に加え、新方式の無線LANサービスを開始しました。新方式は通信の高速化などに優れている上、利用毎にKOMAnetユーザIDとパスワードを入力する認証が不要となり、利便性が向上しました。

また、新旧方式ともに無線LAN利用可能エリアが拡大しました。教務部前ロビー、学生談話室(仮設談話室)、玉川キャンパス駒Diningほか、多くの場所で通信が可能になりましたので、ご活用ください。

設定マニュアルおよび新旧方式利用可能エリアは、大学ホームページ「在学生・教職員の方」からログインし、総合情報センターのページ「無線LAN」を参照してください。

【接続に関する問い合わせ先】

総合情報センターサポート窓口(1号館1階)

◎PC自習室・4号館PC教場のPCをリニューアル

リニューアルに伴いディスプレイを20.0インチワイドモニターに変更し、近年のワイドモニター向けのサービスに対応しました。

◎学生向け学内印刷システムリニューアル

従来の10台(PC自習室、図書館、キャリアセンター、教務部前ロビー)に加え、図書館にカラー1台、モノクロ1台を増設し、計12台が稼働します。印刷の手順が変更になりましたので、マニュアルを確認してください。

個人のPCから印刷する場合は、新システム用ドライバのインストールが必要です。大学ホームページ「在学生・教職員の方」からログインし、総合情報センターのページ「学内印刷システム」よりダウンロードしてください。



パソコンがリニューアルされたPC自習室

9月学位記授与式を挙

9月19日(土)午前10時より中央講堂で学位記授与式を挙行し、学部生66人が卒業、大学院生1人が修了しました。



法科大学院9月入学式を挙

9月19日(土)午後1時より中央講堂で法科大学院の9月入学式を挙行し、新たな新入生を迎えました。



KOMAZAWA NEWS

オープンキャンパスに学生が多数協力

今年度は5日間で23,000人を超える受験生の来場があり、大学の魅力を伝えようと、延べ約1,400人の学生が学部学科説明会やキャンパスツアーなどに協力しました。毎年年度初めに入学センターでは、オープンキャンパスなどの協力スタッフを募集しています。



地域グローバル化推進講座開催

7月28日(火)に、深沢キャンパスで第1回駒澤大学地域グローバル化推進講座を開催しました。「海外旅行で役立つスペイン語」をテーマに、総合教育研究部の上野勝広教授が旅行に役立つ簡単な会話表現を講義しました。第2回の講座は、11月24日(火)14時より実施します。



スキルアップ・インテンシブセミナー開催

文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」採択事業である、“都市型医療連携を担う人材の実践的教育”で、第1回スキルアップ・インテンシブセミナーを開催しました。「がんのCT・MR編～基礎から臨床まで～」と題し、CT編・MR編それぞれで5回にわたる無料講義を行いました。



MOS/ACA世界学生大会決勝戦に出場

経済学部商学科1年の榎田峻さんが、アメリカで開催された「マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)/ACA世界学生大会2015」決勝戦に出場しました。本大会には世界82ヶ国から延べ83万4千人が参加し、榎田さんは4人の日本代表の1人として世界17位に輝きました。



学生有志のボランティア活動

茶道部とKPSの学生が、山形県米沢市の春日山林泉寺で学習支援活動を行いました。被災し福島県から避難してきた児童生徒や地元の子どものための宿題をみたり、茶の湯体験や陶芸教室の指導をしました。主催は、こども育成支援置賜学舎(代表: 仏教学部石井清純教授)です。



経済学部 代田純教授のオンライン講義配信

JMOOCのgacco(オンライン講義サービス)で、12月1日(火)より代田純教授の「歌舞伎の経済学」が配信されます。松竹(株)常務取締役の武中雅人氏と共同で、歌舞伎の魅力を講義します。申し込みはJMOOCホームページから受け付けます(受講無料・受講登録は11月まで)。



東京ゲームショウ大学対抗戦で優勝

9月19日(土)に開催された、東京ゲームショウ2015内の「TOPANGA『ウルトラストリートファイターIV』大学対抗戦」に、経営学部経営学科の松原直裕さん(3年)、斎藤克広さん(2年)、小林武さん(1年)が大学代表プレイヤーとして出場し、優勝(4勝1敗)しました。



ホームページリニューアル

大学ホームページの全面リニューアルを予定しています。より見やすく、必要な情報にアクセスしやすい仕様になります。また新たにレスポンスデザインを採用し、パソコン・タブレット・スマートフォンのいずれからでも、最適表示されるようになります。



第9回学長学業奨励賞が221人に授与されました。

この賞は、前年度の各学科成績上位者若干名を学年ごとに表彰するものです。

<仏教学部>

【2年次生】池本 絵里・青木 隆直・久澤 瑠璃果・池上 哲由・阿左美 公平

<仏教学部禅学科>

【3年次生】中野 智教・長井 心道
【4年次生】北村 佳菜・豊作 浩平

<仏教学部仏教学科>

【3年次生】折橋 龍・工藤 颯太・榎本 知栞
【4年次生】細矢 尚寿・寺島 正顕・伏見 明生

<文学部国文学科>

【2年次生】武田 尚子・小山 由梨香・伊藤 茜
【3年次生】角南 萌恵・石井 明日未・小野寺 真生
【4年次生】山地 未来・田中 香・大和田 泉

<文学部英米文学科>

【2年次生】金井 巧介・篠塚 結・柴崎 葵
【3年次生】大久保 翠・鳥羽 希美・菅谷 美穂
【4年次生】水村 仁美・関口 龍人・稲垣 静夏

<文学部地理学科地域文化研究専攻>

【2年次生】小倉 直輝・大坪 亮太
【3年次生】矢島 慎也・高倉 典宗
【4年次生】吉田 加奈・塚原 千絵

<文学部地理学科地域環境研究専攻>

【2年次生】玉城 遼・濱村 泰典
【3年次生】田辺 杏樹・石原 功基
【4年次生】佐藤 なるみ・松本 正太

<文学部歴史学科日本史学専攻>

【2年次生】瀬野尾 有香・鈴木 諒
【3年次生】池田 翔太・林 幸太郎
【4年次生】高林 拓也・白土 響紀

<文学部歴史学科外国史学専攻>

【2年次生】君田 李奈・飯倉 愛美
【3年次生】内田 美香・保坂 啓輔
【4年次生】増田 舞・有我 明莉

<文学部歴史学科考古学専攻>

【2年次生】秋山 遥
【3年次生】中村 リカ
【4年次生】長澤 文彩

<文学部社会学科社会学専攻>

【2年次生】伊藤 有希・毛 佳偉
【3年次生】上窪 壘・渡邊 夏希
【4年次生】谷口 真彦・佐々木 慶博

<文学部社会学科社会福祉学専攻>

【2年次生】千葉 萌生・吉田 華子
【3年次生】菅谷 弥生・藤村 凌平
【4年次生】北村 京子・鈴木 圭祐

<文学部心理学科>

【2年次生】乾原 胡桃・吉田 実里
【3年次生】王 翠・小平 栞奈
【4年次生】松崎 優和・鈴木 萌絵

<経済学部経済学科>

【2年次生】宮下 悠紀・嘉代 空河・今井 来紀・櫻田 誠和・島田 旬・吉澤 星良・萩野 萌々香
【3年次生】敏史・青木 さゆり・森 優花・青木 大地・秋山 肇・津保久 美奈・一倉 理紗
【4年次生】黒宮 夕貴・田嶋 愛美・安尾 健・内海 凌士・小林 弘明・酒井 美佳・長谷川 優太

<経済学部商学科>

【2年次生】猪股 楓・田上 妃香里・下川 瑠奈・有野 彩夢・伊藤 駿
【3年次生】古松 開士・川城 大樹・武井 若菜・茂手木 裕貴・谷口 佑也
【4年次生】小川 史貴・宮崎 景・加藤 裕矢・肖 涵霏・笠原 彩

<経済学部現代応用経済学科>

【2年次生】佐々木 実保・佐原 知樹・小宮 美恵
【3年次生】菊池 ゆこあ・島田 真琴・大黒 愛子
【4年次生】久保田 広平・藤井 貴大・飯塚 美咲

<法学部法律学科フレックスA>

【2年次生】高嶋 里帆・平光 史弥・進藤 萌々・廣瀬 愛実・藤谷 勇人・伊藤 未希
【3年次生】渡辺 早苗・草野 夏海・小澤 悠河・岩元 惇・春日 歩・中村 みずき
【4年次生】石神 実保・畑中 眞結・綿貫 貴太・森田 優輝・山田 康平・琴寄 信和

<法学部法律学科フレックスB>

【2年次生】板垣 玲祐・大貫 美和子・片柳 拓海・齋藤 千恵
【3年次生】溝呂木 輝・前田 桃子・鈴木 聖弥・塩澤 有希
【4年次生】鈴木 幸・藤原 朋弘・淵本 萌子・佐々木 航

<法学部政治学科>

【2年次生】伊藤 朝美・仲村 裕太・木村 紗彩・當麻 沙織
【3年次生】石井 綾乃・真野 斗志樹・鬼頭 拓也・福田 安安
【4年次生】佐藤 梓・増山 玲奈・西尾 美咲・熊田 ゆり子

<経営学部経営学科>

【2年次生】笠間 あい・川原 実穂・下川 功祐・若狭 和也・福井 緋乃・佐藤 有莉・木村 詩以歩
【3年次生】吉田 美里・山口 友香・中村 裕太・湯本 真弓・李 美鳳・杉原 和歩・清水 勝亮
【4年次生】原田 大樹・渡部 一雄・加藤 崇史・渡邊 詩央里・小木津 舞・松田 里奈・宇津木 大介

<経営学部市場戦略学科>

【2年次生】安斎 奈々・阿部 ひな子・佐藤 美穂・齋藤 加奈
【3年次生】佐藤 美玖・園田 隼弥・藤下 瞬・坂本 風季
【4年次生】熊谷 美沙・孫 瑩・古川 絢子・岡部 紗希

<医療健康科学部診療放射線技術科学科>

【2年次生】影山 肇・新本 悠律子
【3年次生】石橋 貴徳・能重 達匠
【4年次生】大鷹 豊・及川 朋子

<グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科>

【2年次生】田中 紋・徳成 有紀・川崎 夏帆・柿山 大秋・伊藤 柚実
【3年次生】土田 穂里・山本 祐輔・長谷川 愛・大竹 優衣・中村 恵梨・佐野 陽香里
【4年次生】佐山 昂生・柴田 守・阿部 聡美・榎原 みさを・神山 杏摘・古林 佳潔

文芸四季

先日、芥川賞にお笑い芸人では初となる又吉直樹さんの『火花』が選ばれました。

日本の文学界が賑わいをみせているいま、今回のサークル訪問では文芸サークルの「文芸四季」をご紹介します。

現在サークルに所属しているのは、男子13人、女子13人の計26人で、毎週木曜日の5限と6限の時間に9号館で活動しています。活動内容は、長編・短編作品の執筆や、合評、春と秋の機関誌発行、合宿など、とても精力的です。合宿は9月初旬で、栃木県や山梨県などの関東圏内で、親睦を深めながら合評会を行っています。また、講談社が主催する「小説現代ショートショートコンテスト」へ短編作品を応募し、時には外部の評価も得ながら、お互いに切磋琢磨しています。



そんな文芸四季では、今年を「変化の年」としているそうです。結束をより強め、メリハリある活動をしていくために、活動中に出てくる問題点を話し合い、最近では新しい

ジャンルとして「俳句」にも挑戦しているのだとか。さらに今年度は、初めてオータムフェスティバルへの出展を決め、機関誌の展示や販売を予定しています。



小説からノンフィクションに至るまで、多様なジャンルの作品を読めることや、学生同士、身近な仲間と顔を合わせながら評価し合えるのが楽しいと、魅力を語ってくださいました。文体にも一人ひとり個性があり、最初の5行を読むだけで誰の作品か分かるそうです。

執筆はしたことがないけれど、興味がある方。本が好きな方。是非一度、気軽に見学に行ってみてはいかがでしょうか。希望される方には、作品のデータ配布も行っています。

(学生記者 駒大スポーツ所属 文学部社会学科2年 吉田 千夏)

文芸四季 公式Twitter

<https://twitter.com/bungeishiki>



玉川キャンパスを利用する クラブ・サークルが自主清掃を行いました!

7月18日(土)に、体育会学生の発案による“玉川キャンパスとキャンパス周辺の清掃”を実施しました。これは、日頃より玉川キャンパスを利用するクラブ・サークルが、「施設とその周辺の方への感謝を込めて清掃活動を行いたい」と大学に申し出たことがきっかけとなり始まったもので、2011年に開始されてから今年で5年目の取り組みです。



通常は毎月末に一度、体育会に所属する学生を中心に実施していますが、今回はその活動とは別に体育会・文化系団体に所属する有志の学生96人でキャンパス内の草取りと周辺のゴミ収集を行いました。



終了後には70袋におよぶゴミが集まり、所属サークルの枠を越えた交流の場にもなりました。

大学祭 オータム フェスティバル 2015

今年は、10月31日(土)・11月1日(日)に、駒沢キャンパスで大学祭「オータムフェスティバル」を開催します。ゼミやサークル、学生有志によるさまざまなイベントを企画します。

プログラム

- ・教場企画 ・模擬店
- ・フリーマーケット
- ・ウォークラリー ・坐禅会
- ・駒澤フレンドパーク
- ・お笑いLIVE ・BINGO大会
- ・駅伝応援プロジェクト
- ・THEパフォーマンス駒沢
- ・ミス・ミスター駒澤コンテスト
- ・人気声優によるトークショー



ホームページ

<http://komazawa-autumn2015.com/>

Twitter

https://twitter.com/koma_autumnfes

サークルの活動報告



陸上競技部

中谷圭佑選手(経済3)が、7月3日～14日に韓国で開催された「第28回ユニバーシアード競技大会」の男子10000m種目に出場し、29分19秒30の記録で日本人トップとなる第3位となり、銅メダルを獲得しました。



ボクシング部

田中亮明選手(商4)が、8月25日～9月5日にタイで開催された「2015アジア選手権大会」にフライ級日本代表選手として出場しました。



今後、リオデジャネイロオリンピックへの出場が期待されます。

空手道部

7月5日に開催された「第59回全日本学生空手道選手権大会」で、栗原秀元選手(仏教4)が男子個人形第3位、山縣弘朋選手(法律4)が男子個人組手でベスト16となりました。



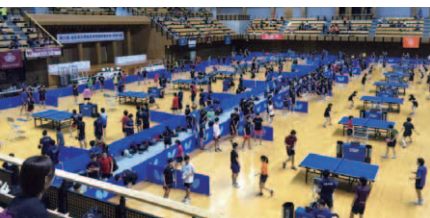
ゴルフ部

7月8日～13日に開催された「第100回日本アマチュアゴルフ選手権大会」に、蓮見篤選手(経済4)と長谷川楓弥選手(商4)が出場しました。蓮見選手は、予選初日トップの好成績で決勝進出を果たしました。



卓球部

7月16日～19日に開催された「第85回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部」で、第6位に入賞しました。また合宿先の静岡県島田市にて、川根中学校の卓球部生徒と交流会を実施しました。



自転車部

榎木祥子選手(歴史4)が、8月27日～30日に開催された「第71回全日本大学対抗選手権自転車競技大会」個人ロードレース63.0kmに出場し、1時間56分45秒の記録で優勝しました。また榎木選手は実業団レース「JBCF 湾岸クリテリウム2015」でも優勝に輝いています。



ヨット部

笹川千浩選手(GM3)・川端文夏選手(地理1)のペアが、9月19日～21日に開催された「第24回全日本学生女子ヨット選手権大会」に出場しました。全日本女子インカレ大会への出場は部で初となる快挙で、全日本大会に出場するのも16年ぶりです。



サークルの活動予定

声援歓迎

体育会

- 居合道部
 - 第20回関東甲信越居合道大会 / 11月23日(月) / 東京武道館
- 空手道部
 - 第59回全日本大学空手道選手権大会 / 11月23日(月) / 大阪市中央体育館
 - 第43回全日本空手道選手権大会 / 12月12日(土)・13日(日) / 東京武道館(12日団体戦)・日本武道館
- 剣道部
 - 第34回全日本女子学生剣道優勝大会 / 11月8日(日) / 春日井市総合体育館
 - 第61回関東学生剣道新人戦大会 / 11月22日(日) / 東京武道館
 - 第16回関東女子学生剣道新人大会 / 11月28日(土) / 東京武道館
- 自転車部
 - 全日本学生RCS第10戦・埼玉クリテリウム行田

頑張れ駒澤大学!! 詳細は各大会のホームページでご確認ください!!!

- 第1ラウンド / 12月13日(日) / 埼玉県行田市・古代蓮の里
- 射撃部
 - 平成27年度関東学生ライフル射撃新人大会 / 11月5日(木)～11月8日(日) / 長瀬総合射撃場
- 少林寺拳法部
 - 少林寺拳法全日本学生大会 / 11月1日(日) / 日本武道館
- 相撲部
 - 第93回全国学生相撲選手権大会 / 11月7日(土)・8日(日) / 大阪府堺市大浜公園相撲場
- 卓球部
 - 第82回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) / 10月22日(木)～10月25日(日) / 京都市体育館
- 陸上競技部
 - 第47回全日本大学駅伝対校選手権大会 / 11月1日(日) / 愛知・熱田神宮～三重・伊勢神宮
 - 第92回東京箱根間往復大学駅伝競走 / 2016

年1月2日(土)・3日(日) / 大手町～箱根町～大手町

- ボクシング部
 - 第85回全日本ボクシング選手権大会 / 11月18日(水)～11月22日(日) / 岩手県水沢体育館
- チアリーディング部 BLUE JAYS
 - 第27回全日本学生選手権大会 / 12月12日(土)・13日(日) / 代々木第一体育館

文化部

- 合唱団
 - 第53回定期演奏会 / 12月28日(月) / 渋谷さくらホール

こちらにもアクセスしてください!

駒澤大学ホームページ
<https://www.komazawa-u.ac.jp/>
 Facebook komazawa.university
 Twitter @komazawa_univer
 YouTube komazawauniv

『落語なら遊馬を聞け！ と言われるはなしか噺家になりたい』



1970年埼玉県生まれ。1994年仏教学部ぶつがく禅ぜん学科卒業。三遊亭小遊三に入門し、三遊亭遊ゆうだちの名で前座修行を開始（※1）。1998年遊ゆうだち改め遊馬の名でニツ目に昇進。2008年真打昇進。2014年に第69回文化庁芸術祭（大衆芸能部門）大賞を受賞。古典落語の世界に新風を吹き込む気鋭の落語家として注目されている。

落語界の第一線で活躍されている三遊亭遊馬さんに、学生時代の思い出や落語にかける思いなど、ユーモアたっぷりに語っていただきました。

* * * * *

---どんな学生生活でしたか？

大学では落語くらぶに入部しました。あまり信じてもらえないんですけど、人前で話すのが苦手で、性格を変えようと思ったわけです。落語くらぶは今年で50年目。僕はちょうど真ん中の25期。部が充実期に入った頃だったので練習日も行事も多く、結束が強かったですね。「くらぶ道」という厳しい決まりごともあり、入部時に部内恋愛禁止と教えられたんですが、素直に真に受けたのは僕だけ。気がついたらみんな破やぶって、見かねた先輩が「お前たちはどうして部内恋愛するんだ。外を見ろ。ガラガラ（窓を開ける動作）。あんなに女子大生がいるじゃないか！」って怒っていました（笑）。

仏教学部では、皆川広義先生（※2）の「仏教伝道研究」を勉強しました。ある日、本屋さんで「仏教と落語」について書かれた本を見つけて、ときめいちゃったんですよ。落語の祖といわれている安楽庵策伝和尚あんらくあんさくでんは説教師で、面白おかしい話を交えながら布教活動していたことを知ったんです。卒業論文の論

題は「仏教における微笑みの研究」にしました。

不特定多数の人に興味を持って話を聞いてもらうという点では、お坊さんも落語家も似ているんです。

---プロの落語家になろうと思ったきっかけは？

学園祭のときに、神様が降りてくるような感覚を味わいました。覚えた通りにやっているだけなのにドッカーンと受けて、落語の力ってすごいなと思いました。プロでやっていける自信はなかったんですが、小さなコンクールで優勝したりして、何とかなるかなと。落語くらぶの先輩で当時真打になったばかりの桂竹丸師匠に相談させていただいて、師匠小遊三に入門することを決めました。

プロになる前は楽屋裏の芸人さんたちは、さぞかし破天荒だろうと思っていたんですけど、普通なんです。みんな師匠のカバン持ちから始まって、挨拶や気働きを覚えてって、基礎から仕込まれているからちゃんとしている。芸の道は厳しいといいますが、僕の場合は好きで選んだ道なので辛いと思ったことはないですね。お酒で失敗してクビになりそうなことはありましたけど（笑）、自分から辞めようと思ったことは一度もないです。

ただ、落語家はニツ目になると自分で売り込みをしないといけないんです。就職活動もしたことがなかったので困りました。独演会を開くことにしたはいいいけど、お客さんの集め方がわからず、落語くらぶの先輩に助けてもらったこともありました。

---昨年の文化庁芸術祭では見事「大衆芸能部門大賞」を受賞されましたね。

驚くと同時にうれしかったですね。プレッシャーもありますが、通過点として、今までやってきたことに間違いはなかったのだという自信にもなりました。これからは「落語なら遊馬を聞け」と言われるよう、自分ならではの色をより濃くしていきたいです。

昔は滑稽話が好きでしたけど、最近のはしみじみと笑える人情話を得意として



います。落語の笑いの神髄はそっちにあると思うようになったんです。

最近ではWEB上でも落語が聞けますが、ぜひ寄席や独演会などに足を運んでいただきたいです。生の振動が生む面白さがありますよ。

---学生にメッセージをお願いします。

仕事を選ぶときは、自分に嘘をつかないことです。ワクワクすること、楽しいことが、自分に合っている道なんじゃないかな。人に言われたからとか、条件が良いからとかで選んでいると、自分で責任が取れないんですよ。真面目に考えすぎちゃダメですよ。自分の勘を信じることです。

時間に余裕のある大学時代に行動するのが大事だと思います。動かないと何も見つかりませんから。楽しそうな道に進んでみて、違ったら次を探せばいいんです。そうすればおのずと自分の好きな道が開けてくると思います。

* * * * *

三遊亭遊馬独演会

日時:12月12日(土)
18:00開場 18:30開演

会場:国立演芸場
地下鉄半蔵門線半蔵門駅下車

木戸銭:前売¥2,500/当日¥3,000

チケット:三遊亭遊馬事務所
お問合せ Tel:03-5944-2422
Fax:03-5944-2423
yuuba.1007@gmail.com

公式ホームページ
<http://yuba.wagei.net/>

※1:江戸落語の身分は見習い、前座、ニツ目、真打からなる。 ※2:本学名誉教授。